

第57期 報告書

2019年 1月 1日～
2019年12月31日

「世の中にない」「真に役立つ」
それが、私たちの研究開発の出発点です。

経営理念

1. 人を育てる
2. 技術を育てる
3. クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる

事業領域



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第57期報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役副社長
堀口展也

代表取締役会長
酒井眞一郎
(登記名 眞一)

代表取締役社長
村川 勉

本ご挨拶の出稿時点(2月20日)、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状態がどの様な推移で進展するのか全く分からない状態で記されていることをご承知ください。

現在我が国の社会情勢は、混迷、不透明、予想外という言葉が現実となって真に濃霧の中という状況にあります。見えているものは今の瞬間でしかなく、明日の成り行きを見通すことは困難です。

突然沸いた大量の受注に直ちに24時間体制で対応したことは勿論であります。従来顧客の通常ニーズ及び医療崩壊を招かない為の医療従事者向けへの出荷を優先し、他の新規顧客への出荷をお断りすることにさせていただいているような状況です。

一方、状況は複雑で各国政府もマスクの囲い込みを図っており、弊社の製造拠点の一つでありますタイ国に於いても価格高騰阻止の目的との理由で、マスク等の海外への輸出を制限する告示を受けるに至ったことは既に開示の通りですが、日本政府の支援もあり日本における緊急性を紹介し、交渉の結果ようやく条件付きで輸出再開に漕ぎ着けることになりました。マスクメーカーの大半が中国で製造している中で日本の医療を守ることに貢献でき、ほっとしているところです。但し、今後の経営見通しとなると、顧客の今後の状況まで判断することは全く不可能であります。

この様な中、弊社と致しましては、

第一に現在の受注を可能な限りの増産体制で応じる。

第二にKOACHや鏡内侍の拡販に全力を傾ける。

第三に市場の変化に対応する商品力の強化に努める。

第四に将来の新市場を見つけるべく基礎研究を怠らない。

と研究開発型企業の基本を崩さない経営方針を続けていくつもりです。

今回の新型コロナウイルスの発生によって多くのマスクからマスク不足やマスクの性能についての報道がなされました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する防護性能については誰も測ったことがないので、これこそ真実であると断言できる人はいないと思いますが、弊社はエアロゾルに対する防護性能の知見を誰よりも持っていると自負しております。

多くの人に関心を寄せていただいたことはマスクについて正しい認識を持っていただく為の機会になり、弊社製品の優秀性をより理解いただける素地ができたと考えております。弊社製品が日本の医療崩壊阻止の一助となれたこと、そして結果日本国民を守ることに寄与したことに誇りを持つと同時に、更に一層より良い製品作りに邁進していきたいと存じます。

株主の皆様にはより一層のご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

2020年3月

営業の概況

当連結会計年度(2019年1月～12月)は、米中間の貿易競争とハイテク摩擦の激化が中国経済を下押しし、また、英国のEU離脱をめぐる混乱などによって世界経済は減速して推移する中、国内景気はそれらの影響を色濃く受け、生産・輸出の鈍化を主因に特に後半は弱含みで推移しました。

このように極めて大きく変動した経営環境の中で、当社グループでは『クリーン、ヘルス、セーフティ』各市場において掲げた重点施策への取り組みを徹底して進めました。その結果、産業向けマスクは順調に売上を伸ばし、下半期から市場

投入した内視鏡洗浄消毒装置の第2世代機「鏡内侍ⅡG」の販売も好調な滑り出しを見せ、当連結会計年度の実績は、売上高86億5百万円(前連結会計年度比3.3%増)、営業利益5億67百万円(同21.7%増)、経常利益5億28百万円(同25.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億71百万円(同3.5%増)となりました。売上高、利益ともに期初計画を達成し、前連結会計年度に対し増収増益という結果でした。

セグメント別の業績は以下の通りです。

マスク関連事業

売上高 **75億 12百万円** (前連結会計年度比4.9%増)

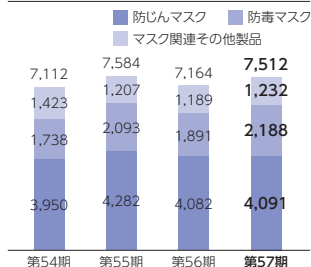
産業用の防じんマスク、防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具の販売が期を通して安定的に推移しました。

“呼吸追随システム”などの最新技術を搭載した自衛隊装備品次世代防護マスク「18式」は、期初の計画通り納入を完了しました。これにより、「4形」「00式」に次いで「18式」と3世代の防護マスクを続けて納入することとなりました。



電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンク」シリーズ

マスク関連事業売上高 (単位:百万円)



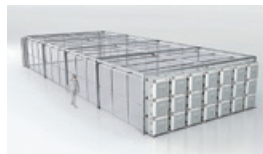
(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

その他事業 (環境関連事業等を含む)

売上高 **10億 92百万円** (前連結会計年度比6.0%減)

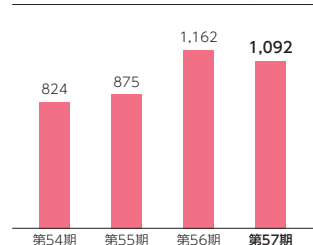
オープニングシステム「KOACH(コーチ)」は、前半は順調に売上を伸ばしましたが、後半、企業の設備投資の急ブレーキに同調して大型機種「フロアーコーチ」の中止、先送りの案件が発生し、販売件数、販売台数、売上高は前連結会計年度を上回ったものの、昨年までの伸び率は維持できませんでした。

新製品の内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍ⅡG」が順調に売上を伸ばした一方で、昨年大きく伸びた官庁向け浄化装置の受注は反動減となりました。



ルーム型「フロアーコーチ」

その他事業売上高 (環境関連事業等を含む) (単位:百万円)



(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

対処すべき課題

当社グループは、企業価値の更なる向上と持続的な発展・成長を実現するために、3つの経営理念「人を育てる」「技術を育てる」「クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる」を基に、それぞれの継続的課題に取り組んでおります。

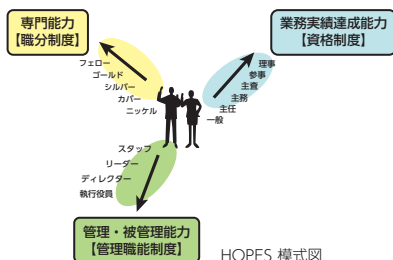
【人を育てる】

当社グループは、社員の生きがいと企業の存続の両立、社員の幸福や生きがいは、雇用された社員の尊厳が、企業の活動の中にも存在していることが重要との考えに立った人事管理制度「興研トータル人事システムHOPES（ホープス）」を1995年に確立し、20年以上に亘って運用して参りました。

この人事制度「HOPES」は、業務実績達成能力、専門能力、管理能力をそれぞれ別の能力と見て、社員一人ひとりを3つの角度（3軸）から独立して評価・運用した多様性を受容する人事システムで、年齢、性別、勤続年数を問わず活躍の場が与えられ、常に意欲のある人材を適所に登用しております。

当社グループでは、事業の発展・拡大のため、専門知識・能力向上を図る社内研修プログラムによって計画的に人材育成を進めております。

管理職を目指す女性社員が少ないという現状に合わせて、かねてより3軸の評価と昇格制度を有する人事制度を運用してきたことにより、主任以上の資格役職者の比率は女性社員が上回っております。また、女性管理役職者は2年前までは1名でしたが、現在は5名となりました。今後も女性を含め社員全員がそれぞれの特徴を発揮し、総合的に活躍できる企業体となることを目指し取り組んで参ります。



【技術を育てる】

当社グループが創業以来、守り続けてきた「他社に追随しない」「徹底的に研究する」という研究開発の理念を技術開発員一人ひとりに徹底・浸透させるため、マトリクス型の研究開発体制を敷き、技術専門能力を評価するマイスター制度や技術開発員と取締役全員参加による月例研究発表会といった当社グループ独自の仕組みを作り、運用しています。その結果、オンリーワン、ナンバーワン製品が次々と生まれ、特許、意匠、商標、先使用権を合わせた知的財産権は、2019年12月末現在、国内175件、海外152件を保有するに至ってお

ります。今後も取得する知的財産の質・量ともに向上させることを重要課題として取り組んで参ります。

研究開発部門の集結、研究者間の交流・連携の深耕及び研究開発の強化、人材育成を図ることを主たる目的として建設した「先進技術センター」は、『クリーン、ヘルス、セーフティ』各分野における技術開発、製品開発はもとより、社外の諸機関・企業との連携や共同研究を推進する拠点となっております。今後、当センターを中心として「技術を育てる」力を大きく成長させ、持続的な発展、企業価値の向上を目指します。



先進技術センター

【クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる】

当社グループは、独自技術を「クリーン、ヘルス、セーフティ」の各分野に提供することで、新しい市場の開拓とその発展に貢献し続けます。

<クリーン>技術・生産の飛躍的進化への貢献を目指します。

- ・作業中の清浄度を重視する「アクチュアルクリーン」の啓発を続けます。
- ・従来型のクリーンデバイスに必要な『厳格なクリーン管理』に伴う大きな負担に対し、[KOACH]導入による負担緩和で大きな顧客メリットが得られる提案営業などを行い、普及拡大に努めます。

<ヘルス>課題の解決と新事業の展開を図ります。

- ・感染対策用マスク[ハイラック]シリーズの医療、一般分野での普及拡販に努めて参ります。
- ・新製品の内視鏡洗浄消毒装置「鏡内待ⅡG」の既存機器からの更新需要、新規導入への普及拡大に注力いたします。

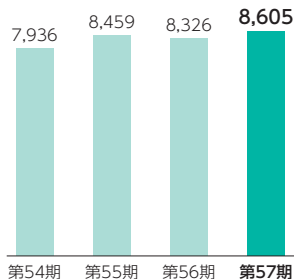
<セーフティ>マスクの更なる普及を目指します。

- ・働く人々のより安全で快適な作業を実現するため、電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンク」シリーズや使い捨てマスク[ハイラック]シリーズをはじめとした高機能・高付加価値製品の開発、普及を通じて、安全・安心の興研ブランドを更に高めて参ります。

財務ハイライト

売上高

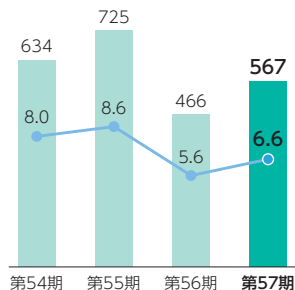
(単位:百万円)



営業利益／営業利益率

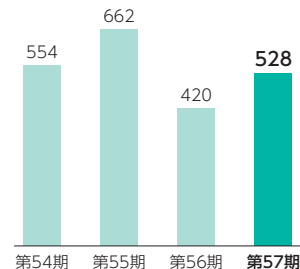
(単位:百万円/%)

■ 営業利益 ◆ 営業利益率



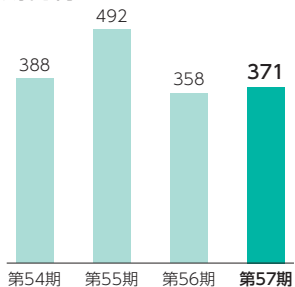
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

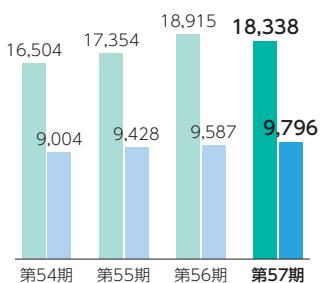
(単位:百万円)



総資産／純資産

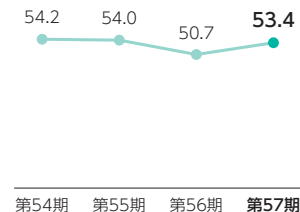
(単位:百万円)

■ 総資産 ■ 純資産



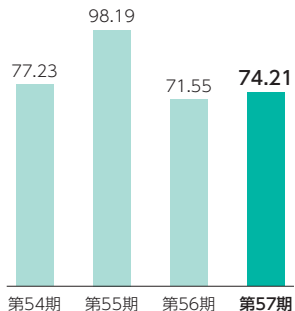
自己資本比率

(単位:%)



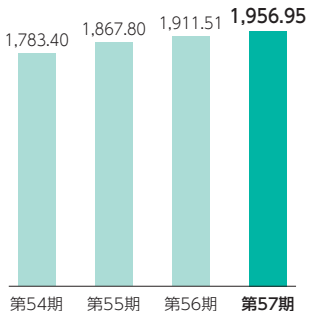
1株当たり当期純利益

(単位:円)



1株当たり純資産額

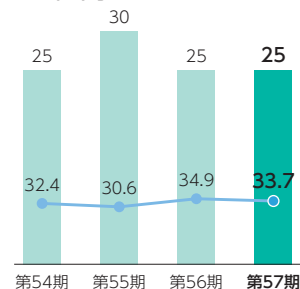
(単位:円)



1株当たり配当金／ 配当性向

(単位:円/%)

■ 1株当たり配当金 ◆ 配当性向



(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第57期 2019年12月31日現在	第56期 2018年12月31日現在
【資産の部】		
流動資産	6,381	6,491
固定資産	11,956	12,423
① 資産合計	18,338	18,915
【負債の部】		
流動負債	4,520	3,767
固定負債	4,021	5,560
② 負債合計	8,542	9,328
【純資産の部】		
株主資本	9,762	9,529
資本金	674	674
資本剰余金	527	527
利益剰余金	8,707	8,461
自己株式	△146	△134
その他の包括利益累計額	33	57
③ 純資産合計	9,796	9,587
負債・純資産合計	18,338	18,915

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第57期 2019年1月1日から 2019年12月31日まで	第56期 2018年1月1日から 2018年12月31日まで
売上高	8,605	8,326
売上原価	4,562	4,441
売上総利益	4,043	3,884
販売費及び一般管理費	3,475	3,418
営業利益	567	466
営業外収益	54	26
営業外費用	94	72
経常利益	528	420
特別利益	—	60
特別損失	13	3
税金等調整前当期純利益	515	477
法人税、住民税及び事業税	184	95
法人税等調整額	△39	23
親会社株主に帰属する当期純利益	371	358

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第57期 2019年1月1日から 2019年12月31日まで	第56期 2018年1月1日から 2018年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,749	490
投資活動によるキャッシュ・フロー	24	△2,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,464	1,084
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	311	△627
現金及び現金同等物の期首残高	1,180	1,808
現金及び現金同等物の期末残高	1,492	1,180

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財政のポイント

Point1 資産 有形固定資産が減少したこと等により、5億77百万円減となりました。

Point2 負債 長期借入金の減少等により固定負債が減少したこと等により、7億86百万円減となりました。

Point3 純資産 利益剰余金の増加等により、2億9百万円増となりました。

クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる

経営理念「クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる」の実現を目指し、以下の取り組みを行いました。

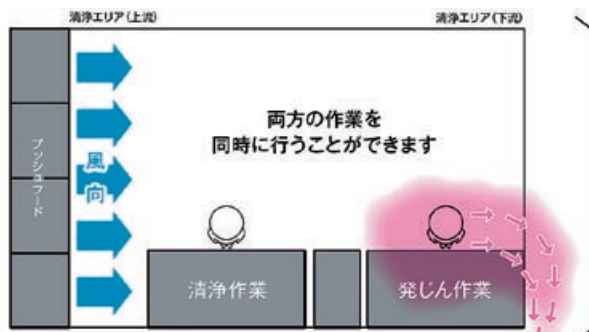
<クリーン>

展示会でアクチュアルクリーンを実演

アジア最大級のエレクトロニクスに関する展示会「ネプコンジャパン2019（東京ビッグサイト）」において、オープンクリーンシステム「KOACH」が作り出す“作業中の清浄度（アクチュアルクリーン）”の実演を行いました。

これまでのクリーンデバイスは、清浄空間内で一度発じんしてしまうと、その汚れが全体に拡散・滞留してまうため、再び清浄度を回復するには、長い時間が必要でした。しかし「KOACH」は、空間内の粉じんを綺麗な空気で“トコロテン”のように一気に押し出し、清浄空間を素早く回復することができる唯一のクリーンデバイスです。

そうした「KOACH」独自のクリーン化技術“アクチュアルクリーン”をご体感して頂くため、展示会では、同じ清浄空間の中で「清浄作業」と「発じん作業」が同時に行える様子を実演しました。



展示会場に設置した「フロアーコーチEzp」を上から見た図

同展示会では「KOACH」ならではの気流コントロール技術、移動できるISOクラス1空間の実演など、クリーンデバイスの常識を超えた「KOACH」の利用法についてのご提案も行いました。その結果、これまでご採用いただいた以外の分野の方々からも多数のご質問をいただくなど、「KOACH」事業の今後益々の拡大を予感させる展示会となりました。

<ヘルス>

内視鏡洗浄消毒装置の第2世代機「鏡内侍ⅡG」を発売

胃や大腸などの消化器の検査・治療用として重要な役割を担っている内視鏡ですが、その一方で内視鏡の管路内の不十分な洗浄消毒（不適切なブラッシングなど）による細菌やウイルスへの感染事例が報告されています。当社グループは、そうしたブラッシング作業の不備を起因とする感染を防ぐと同時にブラッシング作業の均一化、労力軽減を目的とする内視鏡洗浄消毒装置『鏡内侍』を開発し販売しております。

この『鏡内侍』は、世界初の「自動ブラッシング機能」と「電解水生成装置」を搭載し、「確実に洗浄消毒でき、安全性にも優れる」「短時間での洗浄消毒を可能にする」「洗浄消毒コストを削減」等の特長により大変ご好評を頂いておりますが、更なる使いやすさの追求と斬新で洗練されたデザインを施してリニューアルし、「鏡内侍ⅡG」として発売いたしました。

ユーザー満足度の高いサービスの提供をベースに、積極的な営業展開を図って参ります。

【主な特長】

- ①新しく搭載した機能が作業負担を軽減し、ゆとりを生み出す
 - ・内視鏡のセット方式を刷新し簡単にセッティングが可能
 - ・オリンパス、富士フイルム両社の内視鏡に対応
 - ・操作可能な対話型操作パネルを採用
 - ・洗浄槽カバーは自動開閉、電解水は自動生成、有効塩素濃度はリアルタイム表示
 - ・以下の機能を追加（予約洗浄消毒機能、内視鏡登録機能、履歴管理機能、漏水検知機能、アルコール送気機能）
- ②斬新で洗練された新デザインによって、設置スペースにゆとりができる
 - ・縦型のスリムボディで、設置スペースは従来の半分以下
 - ・並列設置、壁付け設置が可能
- ③従来からの機能が、短時間かつ確実な洗浄消毒を実現し検査にゆとりをもたらす
 - ・業界唯一の自動ブラッシング機能を搭載し、洗浄消毒時間は業界一の速さ
 - ・強アルカリ性電解水と強酸性電解水で確実に洗浄消毒



自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍ⅡG」
医療機器認証番号 301AGBZX00019000

<セーフティ>

自衛隊装備品 防護マスクを3世代に亘り納入

当社グループは、これまで自衛隊装備品である防護マスクを1985年度装備化の「4形」、2000年度装備化の「00式」の納入を行って参りましたが、“呼吸追従システム”などの最新技術を搭載した次世代防護マスクが正式採用となり、当連結会計年度において「18式個人用防護装備防護マスク」として納入を行いました。

今回の「18式」納入により、「4形」「00式」「18式」と3世代の防護マスクを続けて納入することになりました。

「18式」は、隊員の方々の更なる防護性・安全性の向上並びに生理的負担の低減を実現するため、当社グループ独自の技術である“呼吸追従システム”が搭載されているほか、広視界を得るための1眼式のアイピース、吸収缶を左右に分けて装着する仕様など、最新技術が搭載されています。



「4形」

「00式」

「18式個人用防護装備防護マスク」

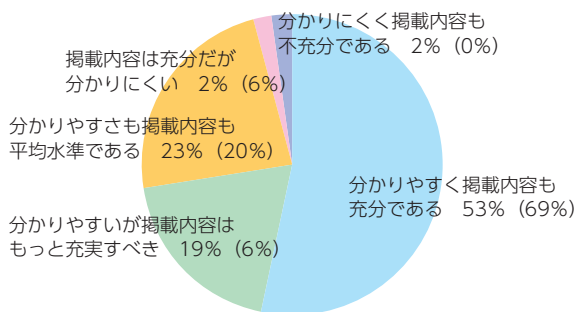
株主アンケート結果

前回「第56期報告書」にて実施した株主アンケートの集計結果をご報告させていただきます。当社では一つひとつのご意見を真摯に受け止め、IR活動の参考とさせていただきます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

Q 事業報告書の掲載内容についてお聞かせください。

()内は前々回「第55期報告書」結果



Q 当社に対するご意見をお聞かせください。

これからもいい製品を出してください。

医療機関で使用できるものを、もっと増やしたほうが良いと思います。

これからも株式価値を高めるように頑張ってください。

事業内容に関心を持ち、株式を購入しました。安定した経営と成長に期待します。

など

会社概要

商号 興研株式会社 (英文社名)KOKEN LTD.
 創業 1943年(昭和18年)5月10日
 設立 1963年(昭和38年)12月12日
 資本金 674,265,291円
 本社所在地 東京都千代田区四番町7番地
 従業員数 連結282名(うち当社232名)
 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQスタンダード
 事業内容 防じんマスク、防毒マスクなどの労働安全衛生
 保護具及び環境関連機器・設備の製造、販売

株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 5,104,003株
 株主数 2,503名
 大株主(上位5名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
酒井 真 一	591,000	11.71
酒井 宏 之	559,400	11.09
公益財団法人酒井CHS振興財団	500,000	9.91
株式会社りそな銀行	244,300	4.84
酒井 香 織	229,600	4.55

(注)持株比率は、発行済株式の総数(5,104,003株)から自己株式数(57,808株)を控除した株式数(5,046,195株)を基準に算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

役員 (2020年3月26日現在)

代表取締役会長	酒井 真 一	常勤監査役	秋山 俊 雄
代表取締役社長	村川 勉	常勤監査役	伊藤 善 博
代表取締役副社長	堀口 展也	社外監査役	階戸 照 雄
専務取締役	村松 光 二	社外監査役	白 日 光
専務取締役	田中文和		
常務取締役	井端 秀 明	常務執行役員	齊藤 雄 司
取締役	長坂 利 明	執行役員	木村 一 志
取締役相談役	酒井 宏 之		
社外取締役	櫻井 しのぶ		

事業所・グループ会社

本社/東京
 先進技術センター/飯能
 テクノヤード/狭山、群馬、所沢、中井、嵐山
 配送センター/埼玉
 営業所/全国15カ所
 環境テクニカルサイト/飯能(先進技術センター内)
 KOACHショールーム/名古屋、大阪、広島、九州
 連結子会社 SIAM KOKEN LTD./タイ王国チョンブリ県

株主優待制度のご案内

当社グループでは、株主様の日頃からのご支援に対し、「株主優待制度」を導入しております。本制度は単なる物質的な株主還元だけでなく、株主様への安全、安心のご提供を目的としています。ぜひご利用ください。

▶ ご優待内容

当社製品の優先購入ができる『優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)』を保有株式数、保有年数に応じて贈呈。

▶ 対象となる株主様

毎年6月末日現在の株主名簿に記録されている1年以上かつ1,000株以上ご所有の株主様。

※「優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)1年間有効」には、100%割引と30%割引の2種類がありそれぞれ購入の上限数を設定しております。

▶ ご優待品



感染対策用マスク [ハイラック]シリーズ
火災・特殊災害避難用マスク [ライフマスター]シリーズ



優先購入ができる製品類

株主優待に関するお問い合わせ先

TEL : 03-5276-1932 FAX : 03-5276-6530 e-mail : ir@koken-ltd.co.jp
 当社広報・IR室までお問い合わせください。

「世の中にない」「真に役立つ」が、私たちの研究開発の出発点

「世の中にない」「真に役立つ」を研究開発の出発点とし、“大きい企業”ではなく、規模の拡大はゆっくりであっても、世界にない、当社にしかできない「オンリーワン」「ナンバーワン」の技術・製品をもつ“強い企業”＝「技術立社」になることが私たちの目標です。この特集では、興研の研究開発についてご紹介します。

第5回 内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍」の開発

● 医療現場の声をカタチに ●

開発の経緯

近年、内視鏡による医療行為は、その技術の進歩と合わせるように施術の機会が増大の一途をたどっていることは、周知の通りです。しかしながら、皮肉にも、直接体内に入る内視鏡による交差感染(物や環境を共有することによって感染微生物を伝播させること)の危険性が増大しているのも事実です。

これに対し、内視鏡を使用する医療施設では、交差感染を防ぐための内視鏡洗浄消毒作業に、多くの労力や時間、そして費用を費やす必要が生じています。一方で、医療施設を取り巻く経営環境は、厳しい状況が継続すると言われて久しく、コスト改革の取り組みは既に始まっています。

また、医療施設で働く職員の健康被害が大きククローズアップされるようになり、職場環境においても職員の健康を守るための最善の配慮をする必要性に迫られています。現在、内視鏡の消毒には、アルデヒド系の消毒剤や過酢酸等の薬剤が使用されており、そうした薬剤からの健康障害を防止するため、換気装置の設置やマスクの着用といった様々な対策が行われているのが実情です。

以上のように、内視鏡を使用する医療施設では、感染リスクや薬剤コスト、そして職場環境汚染など、何らかの問題を抱えていると思われます。当社は、このような諸問題を解決するため、まったく新しいコンセプトのもと、強酸性電解水、強アルカリ性電解水を使用し、自動ブラッシング機能を搭載した内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍」を開発し、2006年より販売しております。

そして、2019年には、「鏡内侍」従来の特長をベースとしつつ、更なる使いやすさを追求した第2世代機「鏡内侍II G」を発売しました。

主な特長

1. ブラッシング作業を自動化し、短時間で洗浄でき、作業性に優れた内視鏡洗浄消毒装置
(1)内視鏡管路内のブラッシング作業を自動で行い、労力を大幅に削減します。
- (2)洗浄消毒の全行程時間はわずか6分間
高水準消毒剤を使用した方法に比べ、洗浄消毒時間を大幅に短縮できます。
2. 電解水で確実に洗浄・消毒し、安全性・ランニングコストに優れた内視鏡洗浄消毒装置
(1)洗浄工程では「自動ブラッシング機能」と「強アルカリ性電解水」を併用し速やかに汚れを除去した後、続く消毒工程で「強酸性電解水」が細菌及びウイルスを死滅させ、確実に洗浄消毒を行います。
- (2)常に生成直後の新しい電解水を使用するシステムが、安定した洗浄消毒効果を発揮し、二次感染のリスクを解消します。
- (3)洗浄消毒に必要な原材料は電解水を生成するための添加剤(塩化ナトリウム)と水道水だけです。高額な洗剤や消毒剤を使用しないため、洗浄消毒にかかるコストを大幅に削減できます。



「鏡内侍」

「鏡内侍 II G」

【鏡内侍の由来】

内侍(ないし)とは、その昔、後宮十二司のひとつである内侍司(ないしつかさ)に奉仕した女官のことを言います。本装置は内視鏡のお世話(洗浄・消毒)をする者の意味から命名しました。

VOICE

開発に携わって

「当社が取り扱っている電解水の生成装置を内蔵させた内視鏡の洗浄消毒装置を作ってもらいたい」と営業部門から開発部へ依頼が来たことが開発のきっかけです。

当時他社の内視鏡洗浄機は洗浄に酵素系洗浄剤を使用し、殺菌・消毒にはグルタルアルデヒドという発がん性のリスクが指摘されている薬剤を使用していました。当社が取り扱っていた電解水生成装置のうち、洗浄消毒装置に内蔵できるような小型のものは強酸性電解水だけを貯水して使用するものでした。この生成装置は同時に電気分解で生成される強アルカリ性電解水は利用せずに排水していたので、せっかく洗浄装置に内蔵するのなら、油脂の乳化やタンパク質の分解など有機物汚れの除去に優れている強アルカリ性電解水を内視鏡の洗浄剤の代わりに使用できないかと考え開発に着手しました。

鏡内侍の最大の特長は自動ブラッシング機能です。内視鏡の管路内をブラッシングする現場の負担を軽減する目的で搭載しました。開発には苦労しましたが、発売から10数年経った今でも、自動ブラッシング機能を搭載した内視鏡洗浄消毒装置は他社から発売されていません。鏡内侍は電解水を利用し、自動ブラッシング機能を搭載しているため、内視鏡の検査間で行う洗浄消毒時間を大幅に短縮することが可能となり、鏡内侍の導入をきっかけに1日の内視鏡検査数を増やす施設があると聞いています。

鏡内侍は「世の中にないもの」「簡単に真似できないもの」を開発するという興研の開発スピリットの象徴と言える製品になっていると思います。

今後も現場の声に応えられるような技術開発を進め、医療現場で安全で安心して使え、喜んで頂ける製品開発に努めて参ります。

・技術本部 開発部
・マーケティング本部
・ハイジニック器械ディビジョン

株主メモ

- 事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 3月
基準日 12月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 同上
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所 (JASDAQ)
公告の方法 当社ホームページに掲載
<http://www.koken-ltd.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由にて電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

各種お手続きについて

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。（お問い合わせ先）
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・連絡先 0120-232-711 (フリーダイヤル)
・ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地

ホームページのご案内

当社のホームページから最新の会社情報や決算短信など詳細なIR情報をご覧頂けます。ぜひご活用ください。

<https://www.koken-ltd.co.jp/>



トップページ



IR 情報サイト

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7963

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝（図書カード500円）
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media（イー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。（1809）

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487 (平日 10:00～17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。